

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

尾久橋通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」と歩きました。

今までに都心から東は千葉県境まで、西は神奈川県境までの道を歩きました。今回は北の埼玉県境までの「尾久橋通り」を歩いています。尾久橋通りは荒川区根岸小学校前交差点を起点に、隅田川にかけられた尾久橋、荒川にかけられた扇大橋を渡り、足立区から埼玉県境に至る延長約 11 km の道です。前回は起点の根岸小学校前交差点から扇大橋駅先交差点まで歩きました。

今回は扇大橋駅先交差点から終点の埼玉県境まで歩きます。写真右上は尾久橋通りの道路名標識（都道 58 号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[扇大橋駅先交差点] 足立区扇二丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 扇大橋駅

写真下左は交差名の表示がないので扇大橋駅先交差点（写真下左）と名付けました。地図で見ると左は都道 307 号線、右は都道 450 号線と記載されています。交差点の先は日暮里・舎人ライナー高野駅（こうやえき）（写真下右）です。



[江北（こうほく）四丁目交差点] 足立区江北四丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 江北駅

江北四丁目交差点（写真下右）で都道 307 号線と交差します。交差点には日暮里・舎人ライナーの江北駅があります。



[胡録（ころく）神社] 足立区西新井本町二丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 江北駅



江北四丁目交差点の右前方に神社があったので、立ち寄りました。

鳥居には「胡録神社」の扁額がありました。説明板がないので家に帰り調べると、胡録神社は各地にあり、ここは正式には「高野胡録神社」とのことでした。創建は不詳ですが、江戸時代には「第六天社」と称して、高野村の鎮守で明治の神仏分離令の際に胡録神社と改称したそうです。

[江北陸橋下交差点] 足立区江北五丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 江北駅

江北陸橋下交差点（写真下右）で環七通り（都道 318 号線）と交差します。左へ行くと鹿浜橋・神谷方面、右へ行くと西新井大師・梅島方面です。



[谷在家（やざいけ）一丁目交差点] 足立区谷在家一丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 西新井大師西駅



写真左は谷在家一丁目交差点です。交差する道路の道路番号の表示は見当たりません。

「谷在家」の地名はかつて存在した谷田川の流路跡の谷に開拓期に植民の人々の家があったとか、高野山の谷に住んで在家（出家しない山内に住む信者）が住んでいたとか諸説があります。手前には西新井大師西

駅がありますが、関東三大厄払い大師の「西新井大師」はかなり離れているので、次回に歩く「尾竹橋通り」で紹介します。

[本応寺] 足立区谷在家二丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 西新井大師西駅

左側にお寺を見つけ、立ち寄りました。説明板によると「1288年（正応元年）創建の日蓮宗の「本応寺」で、開山は日蓮十八高弟の一人の天目上人、開祖は浅香藤九郎と伝わります。特に第九代 日領上人は不受不施の異流を唱え、1630年（寛永7年）の身延池上論争の折、不受不施派の代表の一人として加わった著名な僧である」と記載（一部略）



[舎人（とねり）公園] 足立区舎人公園

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 舎人公園駅



「舎人」とはヤマト政権時代（古墳時代）にすでに存在し、律令時代（奈良時代）においては皇族や貴族に仕え警備や雑務等をする者やその役職のことを云っています。地名の舎人はこの付近にあった舎人城郭の豪族舎人源太左衛門経忠に由来するとか、小石が多い石根（イシネ）・谷（イリ）の地形から付いたなどの諸説があります。

舎人町は1875年（明治8年）11月埼玉県から東京府に編入されています。

「舎人公園」（写真上）は4区画に分かれて西側（A・D）地区は野球場や陸上競技場のスポーツ施設、東側（B・C）地区は池やさまざまな広場など自然と親しむスペースです。1981年（昭和56年）6月に一部（1.38ha）が開園しました。現在は約65ha（東京ドーム約14個分）の広さとのことです。尾久橋通りは公園の真中を縦断して進みます。

右側にC地区の入口（写真下左）があります。

ここには水鳥の池、あそびの広場、バーベキュー広場があります。尾久橋通りの左側はD地区で野球場があります。



尾久橋通りに戻り、直進すると舎人公園駅（写真上右）です。駅前の道は舎人公園通りで左へ行くと足立流通センター方面、右へ行くと竹の塚方面です。写真下右はA地区入口で大池、お花見広場など様々な広場があります。



写真下左右は園内です。写真下右はお花見広場で千本桜があります。寅さん歩88 江戸・東京の祭—17（花の祭）舎人公園の千本桜祭、こぼれ話—1レーガン桜をご覧ください。レーガン桜はA地区にあります。



[舎人公園北端交差点] 足立区舎人公園

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 舎人公園駅

写真下左の交差点名の表示が見つからないので舎人公園北端交差点と名付けました。交差点の手前左側はA地区端にある「陸上競技場」(写真下右)です。日本陸連第3種公認全天候型舗装でサッカー、ラグビーなどが使用可能です。右側はB地区の端で、ここで舎人公園の敷地は終了です。



[舎人氷川神社交差点] 足立区舎人五丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 見沼代親水駅

舎人氷川神社交差点(写真下左)を渡って、少し行くと「舎人氷川神社」入口が左側(写真下右)にあります。手前の交差点に「下谷氷川神社」の案内があり、最初は間違っ左折してしまい戻りました。「舎人氷川神社」は鎌倉時代初期の1200年(正治2年)大宮の(現在の埼玉県さいたま市)の氷川神社を勧請したと伝わります。



[見沼代親水公園交差点] 足立区舎人五丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 見沼代親水駅

見沼代親水公園交差点表示は駅前（写真下左）と駅先（写真下右）にあります。日暮里・舎人ライナー始発・終着駅です。尾久橋通りはこの先の埼玉県境まで続くので、「帰りにはここから乗るからね」とつぶやいて先へ進んだ寅次郎です。



[見沼代親水公園] 舎人四丁目～古千谷本町四丁目

駅先の交差点の右側が「見沼代親水公園」（写真下左右）です。かつての水路を整備して1984年（昭和59年）開設の約1,7kmの水辺の散歩道です。



その先、左側には「毛長緑道」の表示（写真左）がありました。毛長川土手沿いにあり、桜の季節が楽しめそうな緑道です。

[舎人二ツ橋交差点] 足立区舎人四丁目

最寄駅 日暮里・舎人ライナー 見沼代親水駅

「舎人二ツ橋」(写真下左)は「毛長川」(写真下右)にかかります。



[埼玉県境・尾久橋通り終点]

足立区舎人四丁目

尾久橋通りの終点で先は埼玉県草加市です。舎人公園のお花見で日暮里・舎人ライナーに乗って来ましたが、尾久橋通りを通して歩くのは初めてでしたので、沿道の新しい多くの事を学びました。



[日暮里・舎人ライナー]

見沼代親水公園駅から日暮里・舎人ライナーに乗り、帰りました。

写真下左は日暮里・舎人ライナー始発・終着駅の見沼代親水公園駅からの乗車、写真下右は見沼代親水公園駅を出発です。



写真下左は下り線と交差、写真下右は始発・終着駅の日暮里駅へ到着です。
都営なので寅次郎、東京都シルバーパス（70歳以上）で乗れます。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年1月31日村上から44km地点（江戸深川から1348km）に到着しました。これから新潟へ向かいますが、まだ30km先です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝